

各日本語教育機関

設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会

理事長 佐藤 次郎

令和 2 年度文化庁委託主任教員研修に係る担当講師育成研修 の開催及び参加者の推薦依頼について（ご案内）

当協会の運営につきましては、日頃より御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今年度当協会では、文化庁委託日本語教育人材の研修プログラム普及事業のうち「日本語教育コーディネーター（主任教員）に対する研修」分野を実施することとなりました。本普及事業においては本年度から「研修担当講師の育成」が義務付けられ、本主任教員研修内でも講師育成に取り組むものであります。

講師育成研修は、ほとんど行われておらず、貴重な機会です。また本研修に参加される方には、主任研修の集合研修に係る指導補助謝金、研修会場までの交通費をお支払いいたします。

貴日本語教育機関においてこの主任研修担当講師育成研修参加希望者がおられましたら、別紙 3 の参加申込書に必要事項を御記入の上、来る 8 月 14 日(金)【必着】までに、メール又はファックスにて、当協会評価部あて御推薦くださるようお願いいたします。

記

令和 2 年度 文化庁委託 主任教員研修担当講師育成研修	
目的	研修実施ファシリテート及び受講生への学習サポートを担う次期主任研修担当講師の育成
定員	12 名
参加資格	以下の(1)(2)のどちらかの条件を満たした方。 (1)日振協の主任教員研修を過去に受講した方 (2)日本語教育機関の告示基準(法務省入国管理局 平成 28 年 7 月 22 日策定)第 1 条第 1 項第 15 号に規定する主任教員経験が豊富な方
参加要件	(1) 育成研修及び主任教員研修全日程に参加していただける方 (2) 今年度の主任教員研修の指導補助を務めていただける方 (3) 自宅のインターネット環境が整っており、ウェブ会議の参加経験がある方 (4) 次年度以降の主任研修において、研修の担当が可能な方
研修について	
1. 日程及び研修概要	①当該主任研修のコンセプト、学習原理、研修概要についての講義 8 月 29 日(土) 10:00~17:00 [オンライン研修] ②ファシリテーションのスキル研修 9 月 1 日(火) [オンライン研修] ③主任教員研修補助 対面集合研修：2020 年 9 月 11 日(金)・ 9 月 12 日(土) [通い 2 日間] ※詳しい日程は別紙 1 をご参照ください。

		<p>オンライン集合研修：9月下旬を予定 [1日間]</p> <p>④査読スキル研修 小グループで行うため、グループ内で相談の上決定</p> <p>⑤事後の自己研修</p>
2.	9月11日(金) ・12日(土)の 会場	<p>東京：TKP品川グランドセントラルカンファレンスセンター https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinagawa-gct/access/</p> <p>大阪：TKP新大阪駅前カンファレンスセンター https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka-higashiguchi/access/</p> <p>セッションの講師を東京会場・大阪会場のどちらかに配置して両会場をインターネットでつなぎ、同時に研修を開催します。どちらに参加するか選択してください。</p>
3.	担当講師育成 研修担当者	<p>沼田 宏 (委員長 前インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所所長)</p> <p>一条 初枝 (ヨシダ日本語学院 校長)</p> <p>奥田 純子 (コミュニカ学院 学院長)</p> <p>神吉 宇一 (武蔵野大学大学院 准教授)</p> <p>亀田 美保 (大阪YMCA 日本語教育センター センター長)</p> <p>神 恵介 (新世界語学院 学院長)</p> <p>辻 和子 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 校長)</p> <p>平岡 憲人 (清風情報工科学院 専務理事・校長)</p> <p>松崎 聡 (国際アート&デザイン大学校日本語科 教務部長)</p> <p>山田 貴彦 (ミッドリーム日本語学校 校長)</p> <p>筒井 洋一(ファシリテーションスキル研修担当 京都工芸繊維大学 非常勤講師)</p>
4.	研修にかかる 費用	<p>不要</p> <p>指導補助謝金，交通費をお支払いいたします。</p>
5.	研修レポート の提出に ついて	<p>研修終了後に，A4判（40字×40行）で2枚程度（2,500字程度）の研修レポートをワードで取りまとめ，Eメールで評価部あて2021年1月29日（金）（必着）までに送信いただきます。</p>
6.	修了要件に ついて	<p>研修時間の90%以上に出席し，研修終了後に提出するレポートの査読で可とされること。</p>

担当：評価部 野田・塩原
TEL 03-5304-7815 FAX 03-5304-7813
Eメール hyokabu@nisshinkyu.org

令和2年度主任教員研修日程案

集合研修会場：東京(TKP品川グランドセントラルカンファレンスセンター)
大阪(TKP新大阪駅前カンファレンスセンター)

第1日目【9月11日(金)】

時間	研修内容等	項目(教育内容)	講師(担当)
9:30~10:00	受付		
10:00~10:30	開会あいさつ、オリエンテーション	・ラーニングマネージメント	佐藤理事長、沼田委員長
10:30~11:00	プレセッション	・地域社会と日本語学校(ネットワーキング)	山田委員・神委員
11:00~11:45	セッション[1] 「日本語教育機関の質保証 自己点検を振り返って」	・教育機関の自己点検評価	インターカルト日本語学校 加藤早苗 学校長
屋 食			
12:45~14:45	セッション[2] 「日本語教育施策」・講義	・留学施策・入国管理制度・教育行政と、留学生の出身国の最新の動向 ・法務省告示日本語教育機関の現状と課題	佐藤理事長 他(関係省庁予定)
休 憩			
14:55~15:45	セッション[3] 「日本語教育機関の組織マネジメント」・講義	・教育機関の経営 ・危機管理 ・法令の遵守	平岡委員・神委員
休 憩			
15:55~16:50	セッション[4] 「コースとカリキュラムをデザインする」	・カリキュラム編成、クラス編成、教員の配置 ・プログラム評価、学習者評価、授業評価 ・留学生アドバイザー	辻委員・一条委員
16:50~18:10	セッション[5] 「日本語学校のプログラムを評価してみよう」	・教育機関の目的・目標に応じたプログラムの策定・実施・点検・評価・改善 ・社会参加を促進する教室活動	神吉委員・辻委員・一条委員

第2日目【9月12日(土)】

時間	講義内容等	項目(教育内容)	講師(担当)
9:30~10:15	セッション[6] 「主任教員が行うべき“人材育成”」	・人材育成のための研修プログラムの策定 ・セルフマネジメント ・教員の協働のためのファシリテーション ・組織マネジメント	奥田委員 亀田委員
10:15~11:00	セッション[7] 「実践研究をやってみよう」	・実践研究	亀田委員 奥田委員
休 憩			
11:10~12:10	セッション[8] 「主任の仕事マップ作り」・グループワーク	・事例研究	沼田委員・神委員
13:10~13:55	セッション[8] 「主任の仕事マップ作り」・グループワーク	・事例研究	沼田委員・神委員
休 憩			
14:05~16:05	セッション[9] 事例研究「こんなときどうする？」	・事例研究 ・学習者の多様性への理解	神委員・山田委員
休 憩			
16:15~18:00	セッション[10] 「私のアクションプラン」・グループ討議	・アクションプラン	山田委員
18:00~18:10	閉講 事務連絡		

集合研修 18 単位時間

事前課題 7 単位時間 ①セッションの導入に関する動画の視聴：組織マネジメント、人材育成等
②課題作成：自己点検、プログラム評価等

オンライン研修 2 単位時間

事後課題 4 単位時間

総単位時間数 31 単位時間

日振協評価部 行
 (FAX 03-5304-7813)
 (E メール hyokabu@nisshinkyu.org)

当初認定番号 (会員番号)	
------------------	--

令和 2 年度文化庁委託主任教員研修 (研修担当講師の育成)

《 参加申込書 》

令和 2 年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会
 理事長 佐藤 次郎 殿

機関名 _____

所在地 _____

TEL _____ FAX _____

設置代表者名 _____

標記研修に下記の者を参加させたいので申し込みます。
 (参加者が複数の場合は用紙をコピーしてご記入ください)

(フリガナ)	
参加者氏名	
対面研修参加地 (東京・大阪)	第一希望() ・ 第二希望()
職 名	
当該機関における主任教員としての就任 又は就任予定年月日	年 月 日
日振協主任教員 研修の参加経験	有 (20____年参加) ・ 無
※日本語教員 経験年数	(主任教員) 年 月 / (専任教員) 年 月
E メールアドレス	@

※日本語教員経験年数は、留学告示別表第 1，別表第 2 又は別表第 3 に掲げる日本語教育機関での常勤（専任・主任教員）の日本語教員としての勤務経験年数をご記入ください。